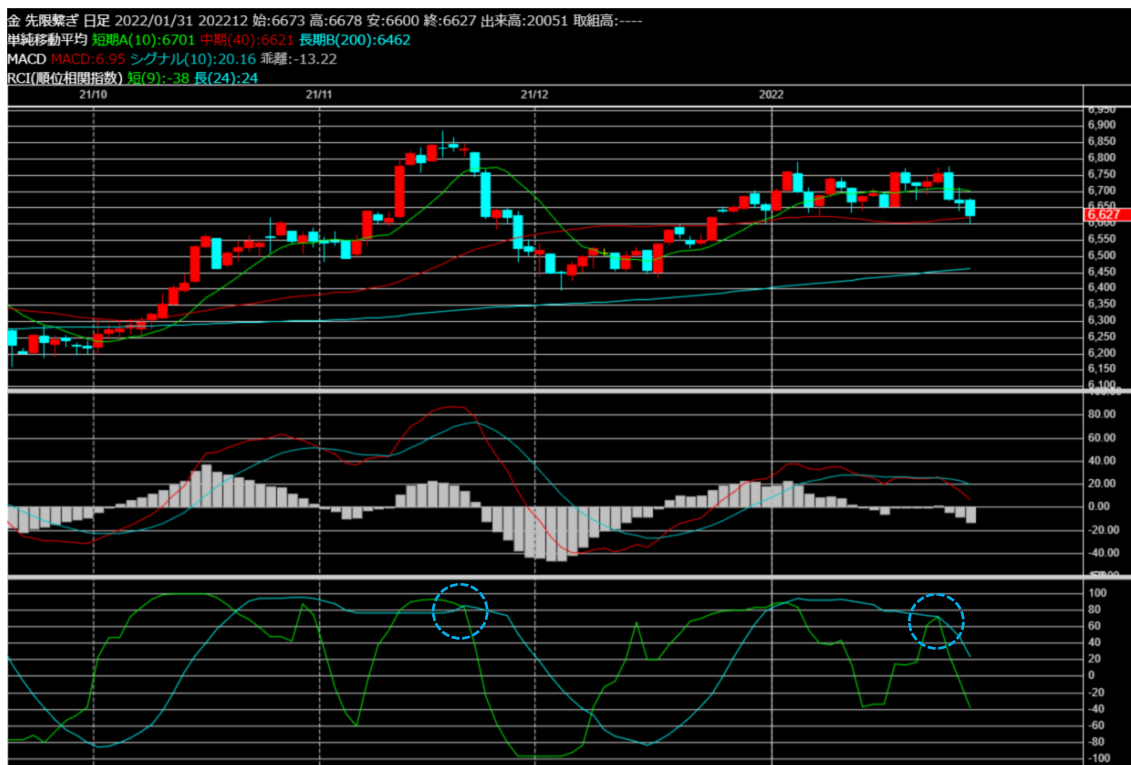


## <金標準先物、FRB と ECB の金融政策の違いから 6600 円割れ・・・>



(出所：オアシス)

先週の FOMC の記者会見でパウエル FRB 議長は「委員会は 3 月会合で FF 金利を引き上げることを意識している」と指摘し、バランスシート縮小のプロセスについては「FF 金利誘導目標レンジの引き上げプロセスを開始した後に実施する」と説明するなど、利上げ開始が「近く」適切になるとの認識を示している。そのため 2018 年 5 月 2 日の FOMC 以来の利上げ示唆となり、6 月 13 日開催の FOMC で 0.25% の利上げを実施している。

特に 2018 年は ECB 理事会で金利据え置きを発表するなど、欧米の金融政策の違いからドル高：ユーロ安が進み、4600 円を付けていた金標準先物は 3 週間で 4402 円まで下値を試している。

また先週に米国第 4 四半期 GDP は 6.9% となるなど 1984 年以来の高水準を示したが、ドイツ第 4 四半期 GDP は新型コロナ・ウイルスのオミクロン株の感染拡大を受け、事前予想の 0.3% 減を下回る 0.7% 減となるなど、コロナ禍における 2 回目の景気後退を示しており、為替市場ではユーロが対ドルで売られなど、2018 年 6 月以降の為替の動きと同様である。そのため今週の金標準先物は 6600 円を下回る可能性が高いと予想され下値追いに注意したい。

### <テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では、MACD がシグナルを下回りシグナルも下げだしている。また RCI でも短期が下げしており、長期も下げ続けている。そのため 40 日移動平均線を終値ベースで下回る可能性は高いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 467,000 円(2022 年 1 月 31 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2022 年 1 月 31 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30) 証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター <https://www.nisshokyo.or.jp>